

財団法人東北活性化研究センター
「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成23年2月東北分
(新潟を含む東北7県)」について

財団法人東北活性化研究センター（会長：高橋宏明・東北電力㈱取締役会長）は、このほど、「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成23年2月東北分(新潟を含む東北7県)」についてとりまとめましたのでお知らせいたします。

【基調判断】

●今月の基調判断…東北地域の景気は「厳しさが続くなかで持ち直しの動きがみられる」
(上方修正)

- ・消費者の節約志向や企業経営、雇用環境に大きな変化はなく、厳しい状況が続くなかで、政策効果終了後の反動が落ち着いたことや、降雪と寒さが一段落したことから客足が戻り、春物商材に動きがみられる。一方、原油・原材料価格の高騰など先行きに対する懸念がうかがえる。このことから、総合的には厳しさが続くなかで持ち直しの動きがみられると判断される。

【調査結果のポイント】

(1) キーワード

- ・プラスのキーワード…天候（現状、先行き）、春物（現状）、新幹線延伸開業（現状、先行き）
- ・マイナスのキーワード…原油・原材料価格（現状、先行き）、低価格・買い控え（現状、先行き）、政局及び中東・北アフリカ情勢（先行き）

(2) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

- ・現状判断DI「48.9」（+6.1）は、2か月ぶりに前月を上回ったものの、景気判断の基準となる50を7か月連続で下回った。
- ・家計動向は、需要期を迎え、消費者の低価格志向や節約志向は続いているものの、政策効果終了後の反動が落ち着いたことに加え、降雪や寒さが一段落したことから客足が戻り、春物商材に動きがみられる。DIは「48.2」（+8.2）と2か月ぶりに前月を上回ったものの、景気判断の基準となる50を7か月連続で下回っている。
- ・企業動向は、厳しい企業経営のなかで、円高やコスト競争等の影響による受注環境や売上の低迷は続き、原油・原材料価格の高騰による影響が出始めているものの、住宅関連や新幹線の延伸開業効果など、一部に動きがみられる。DIは「50.0」（+5.5）と2か月ぶりに前月を上回り、景気判断の基準となる50を7か月ぶりに上回っている。
- ・雇用動向は、一部の地域や業種で求人に動きがみられるものの、雇用環境に大きな変化はなく、依然として厳しい状況が続いている。DIは「51.2」（▲5.9）と2か月ぶりに前月を下回ったものの、景気判断の基準となる50を2か月連続で上回っている。

(3) 先行き判断（3か月先の見通し、方向性）

- ・先行き判断DI「47.6」（▲0.3）は、4か月ぶりに前月を下回ったものの微減に止まり、景気判断の基準となる50を10か月連続で下回った。
- ・家計動向は、消費者の低価格志向や節約志向のなかで、需要期に向け春物商材やオンライン商戦の動きに期待があるものの、原油・原材料価格の高騰による家計への影響など先行きに対する懸念がみられる。DIは「47.4」（▲0.1）と前月からは横ばいで、景気判断の基準となる50を10か月連続で下回っている。
- ・企業動向は、製造業等の一部に動きがみられるほか、新幹線の延伸開業効果等に期待があるものの、円高の影響や国内需要の落ち込みによる受注環境の低迷に加え、原油・原材料価格の高騰など先行きに対する懸念から、厳しい状況が続く。DIは「46.2」（▲1.4）と4か月ぶりに前月を下回り、景気判断の基準となる50を10か月連続で下回っている。
- ・雇用動向は、一部で新規出店や2012年度の新卒採用予定数を増やす動きがみられるほか、自動車及び半導体関連工場の稼働による波及に期待があるものの、雇用環境の厳しい状況に変化はみられない。また、原油価格の高騰など先行きに対する懸念がみられる。DIは「51.2」（±0.0）と前月から横ばいで、景気判断の基準となる50を2か月連続で上回っている。

以上

<添付資料>

- 調査結果の概要

<お問い合わせ先>

財団法人 東北活性化研究センター（担当：木村）
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10
TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

【調査結果の概要】

1. 今月の基調判断

景気ウォッチャーの判断によれば、東北地域の景気は、厳しさが続くなかで持ち直しの動きがみられるとのことである。

2. 今月のDI※

(1) 現状判断（方向性）DI

3か月前との比較である現状判断DIは、48.9（前月比+6.1）と、2か月ぶりに前月を上回ったものの、景気判断の基準となる50を7か月連続で下回った。

	22年												23年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
東北現状	35.3	39.5	46.2	49.4	46.8	48.6	51.3	42.9	40.7	38.6	42.0	45.1	42.8	48.9
家計動向関連	34.3	38.4	45.4	46.9	44.3	48.3	51.8	44.2	39.2	36.9	40.1	44.2	40.0	48.2
企業動向関連	40.6	43.9	49.4	56.9	53.1	47.4	50.6	38.4	40.4	38.4	45.1	47.6	44.5	50.0
雇用関連(参考)	32.1	37.5	45.5	51.2	51.2	52.4	48.9	43.2	51.2	50.0	47.6	46.6	57.1	51.2

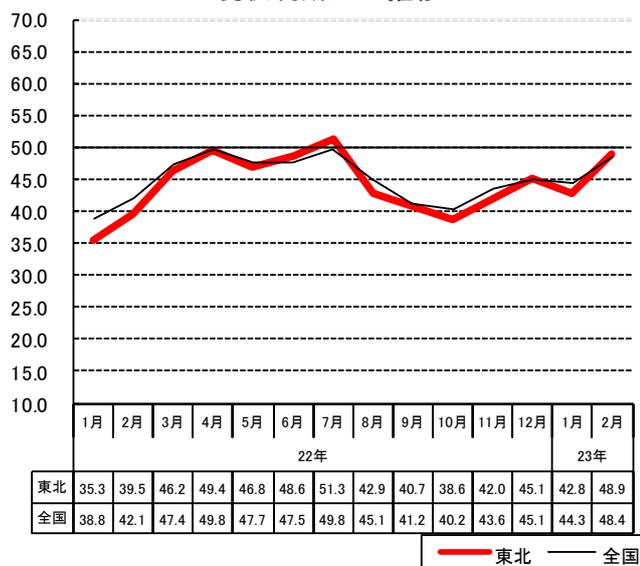
(2) 先行き判断DI

3か月先を予想する先行き判断DIは、47.6（前月比▲0.3）と、4か月ぶりに前月を下回ったものの微減に止まり、景気判断の基準となる50を10か月連続で下回った。

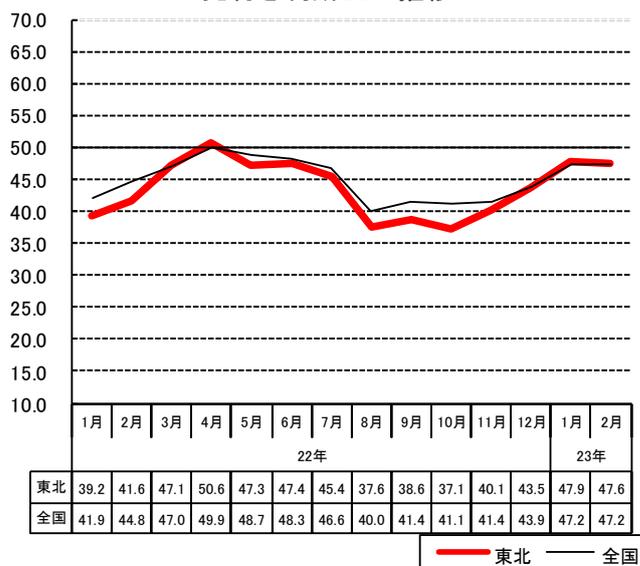
	22年												23年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
東北先行き	39.2	41.6	47.1	50.6	47.3	47.4	45.4	37.6	38.6	37.1	40.1	43.5	47.9	47.6
家計動向関連	38.3	40.3	46.5	50.4	46.3	46.5	44.0	37.6	37.6	36.4	40.7	42.6	47.5	47.4
企業動向関連	45.0	45.1	48.1	50.6	49.4	47.4	48.1	39.0	39.1	37.2	37.2	45.1	47.6	46.2
雇用関連(参考)	33.3	43.8	48.9	52.4	50.0	53.6	48.9	35.2	44.0	41.7	41.7	46.6	51.2	51.2

※DI（Diffusion Index）について…50を基準とし、50を超えると景気が良い方向にあることを示す。

現状判断DIの推移



先行き判断DIの推移



3. 調査の概要

調査期間 平成23年2月25日～28日

回答者数 197/210名、回答率93.8%（全国1,819/2,050名、88.7%）

4. 特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「良くなっている」

（衣料品専門店）…フレッシュマンの来店が増える時期であるが、例年に比べ、単価、来客数が順調に伸びている。後半から寒さが少し緩んだことにより、春物のスーツを購入する動きが例年以上に早く、順調に伸びている。景気は少しずつ上向き、消費マインドが上がっていることがうかがえる。

○「やや良くなっている」

（百貨店）…好天に恵まれ、来客数が前年比 107%、売上が同 105%と堅調に増加している。冬物商材がここに来て売れている。また、化粧品やインナーなどの春のテレビコマース商品など露出度の高い商品が好調である。

（衣料品専門店）…半袖等の春物商材を先買いする客が増えているのに加え、買上点数も増加しており、消費者の購買意欲の高まりがうかがえる。

（乗用車販売店）…新車販売はエコカー購入補助金終了後の低迷から持ち直してきている。新型車投入の効果もあり、客の来店数及び成約数は増えている。

（通信会社）…スマートフォンへの買換え需要が好調であり、次回の買換え時にスマートフォンを検討している客も増えている。

（金融業）…新幹線延伸開業に伴う効果が現れてきており、観光関連業種を中心に売上や稼働率が好転してきている。雇用状況もわずかではあるが改善傾向が続いている。

（広告業協会）…大型店は冬の寒さで客足が伸びず苦戦している。2月に入り気温の上昇とともに春物商材が伸びてきている。住宅関連はエコポイントなど政策効果もあり好調な様子が見られる。また、戸建住宅の引き合いも活発化している。

（職業安定所）…欠員補充の求人のほか、増員に伴う求人も増えているため、新規求人数は前年比3か月連続で3割増増加している。

○「変わらない」

（百貨店）…ハウスカードのポイントアップのときは来客数も多いが、平日はやや厳しい。しかし、オケージョン対応の春のスーツやコート等、高単価商品は前年を上回っている。

（スーパー）…1、2月共に、降雪のため客の来店回数は減少傾向にあったが、1回あたりの買上点数は増加し、1品単価はほぼ同じか減少傾向にある。一方、節分、バレンタインなどのイベントへの消費は拡大している。日常の食生活は節約、イベントは消費拡大の傾向が見られる。

（コンビニ）…来客数は前年比 92%で、客単価は同 106%である。転勤等の影響も考えられるが、寒さが続き外出を控えた高齢者の来客が減少している。一方、30～40歳代の購買動向を見ると、所得が伸び悩んでいるせいか、昼食時はカップめんやおにぎり、ファーストフード等の購入が中心で、客単価は 500 円以下である。また、主婦の買い方を見ても、日配品や調味料は 105 円の低単価商品が中心である。さらに、若い人達を見ても、105 円の飲料やスナック菓子の購入が多い。そのほか、就職情報誌の購入層は 40 歳代が多い。

（靴専門店）…冬物は売り出しをしてようやく動きが見られるという状況である。婦人ブーツなども皮製の高単価商品より、合成皮革の低単価商品の動きが大きくなっており、価格に敏感な消費行動が見られる。

（都市型ホテル）…企業、団体等の会合の予約状況は3か月連続で前年実績を上回っているが、宿泊、レストラン等個人利用は前年まで届かず、全体としては例年並みの入込となっている。

（テーマパーク）…3連休というプラス要因もあり、入場人員は増加したが、客は依然として低価格志向で、買い控え傾向が見られる。

（食料品製造業）…食料品の原材料や燃料の価格上昇に伴い、収益の面で厳しくなっている。また、競争激化により販売促進費の投入を増やしている。

（輸送業）…荷主からの値引き要請に応じざるを得ない状況で、当社の損益にもろに影響している。

（飲食料品卸売業）…飲食店向けの販売量の不振がまだに続いている。また、客単価の低下により、低

価格のナショナルブランド商品へのメニュー変更が著しいが、受注量は伸びていない。

(人材派遣会社) …例年、人材派遣業にとって最も繁忙となる時期だが、今年は半分ほどの引き合いしかなく、価格帯等も下がってきている。

(新聞社 [求人広告]) …ショッピングセンターのリニューアルに伴う新規出店により、雇用の創出があるものの、正規雇用には至らず臨時雇用が大半を占めている。

○「やや悪くなっている」

(スポーツ用品店) …雪が多いため、主に取り扱う野外スポーツ向け商品のみならず、インドア仕様のシューズ等の動きも鈍くなっている。冬物のコート関係もクリアランスセールでの動きは鈍い。

(スーパー) …今月に入り、原油、ガソリン価格の上昇に伴い、客の買い回りパターンはワンストップ化の傾向が見られる。

(ガソリンスタンド) …中東情勢の緊迫化により、原油価格が大幅に上昇してきており、それが仕入れ価格の大幅な上昇を招いている。しかし、販売価格への転嫁が思うように進まないため、収益が急激に悪化してきている。当地域の販売価格は全国平均を大幅に下回っているため、小売各社の経営状況は不安定になってきている。

(観光型旅館) …1～2月初旬にかけてインバウンド特需があったものの、当初予定していた国内団体旅行及び募集ツアーが不振となっている。単価は、マルチプランに集中し過ぎて前年比を大きく下回っている。

(コピーサービス業) …受注価格や販売価格を安くしても売れず、受注量は下降線をたどっている。競合相手の状況も同様である。

(職業安定所) …新規求人数は前年同月比でやや減少し、3か月連続で減少となっている。

○「悪くなっている」

(医薬品販売店) …来客数が過去にないほど減少している。客に品物を勧めても反応が良くないことから、単価が低い商品まで値引きを考えざるを得ない状況である。

(寝具販売店) …客を訪問しても反応が薄い。オーダーメイドよりも量販店の低価格商品で良いとする傾向が強くなっている。

(新聞販売店 [広告]) …2、8月は悪いとよく言われるが、それ以上の折込チラシの数字の悪さが見られる。経済状況を理由に新聞の購読を中止する人の数も多く、当店の経営も圧迫されている。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(衣料品専門店) …消費者は節約に飽きてきており、少しずつ購買意欲が出てくる。

(旅行代理店) …新幹線の延伸開業により、東北を訪れる人が増えることに加え、各種会議や大会が多く開催される。また、宗教関係のイベントもあるので、良くなることが期待できる。

(通信会社) …個人需要を中心にスマートフォンの売行きは堅調に推移すると期待している。

(飲食料品卸売業) …売れる商品の幅が広がっていることで、販売量も増しており、今後も良くなることが予想される。

(人材派遣会社) …2012年4月入社の新入社員の採用予定数を前年よりも増やす企業が出てきている。

(新聞社 [求人広告]) …1月には自動車工場の初出荷があり、4月からは半導体関連工場の本格稼働も控えている。関連企業を含め、春先からの新しい動きに期待している。

○「変わらない」

(百貨店) …身の回り品については、消費マインドが確実に上向いている。一方、宝飾品や美術品といった高単価商品の動きは相変わらず鈍いため、全体の状況は変わらない。

(スーパー) …新学期や新生活、ゴールデンウィークなど消費が拡大する時期に入るが、原油価格高騰に伴うガソリンや灯油の価格値上がり、家計を圧迫することが予想される。

(コンビニ) …依然として低単価の商品が好まれているものの、来客数が増えてきているので、短期間で景気が悪化することもない。

- (家電量販店) …来客数の微増に対して単価の下落幅が大きいことや、消費が大きく動く要素が見当たらないため、今後も現在の状況は続く。
- (住関連専門店) …先行きは明るい材料に乏しく、現状から脱しきれない。春に向けて消費者の財布のひもが少しでも緩くなることを期待したいが、転勤時の買換えは最小限に止める傾向にあり、消費が大きく伸びるということはない。
- (観光型ホテル) …客の財布のひもは依然として固く、例年行っているプランでも、同じ内容にもかかわらず客が減っているという状態である。新幹線延伸開業という明るい材料もあるが、4月の統一地方選挙の影響による来客数の減少も予想される。しばらくは現在の状況が続く。
- (建設業) …民間工事の出件数及び出件規模が減少している。また、官庁工事についても現在の不安定な政局から明るい材料は見出せず、現在の状況が良くなることはしばらく期待できない。
- (飲食料品卸売業) …消費者は、嗜好品である酒類への出費を予想以上に抑えており、利益商材である地酒でも低価格化が進んでいることから、出荷量微減、利益大幅減の傾向は続く。
- (金属工業協同組合) …有機EL製造関連の動きなど、一部に受注量及び単価の適正価格による引き合いがある反面、成形製造は大幅な受注減が続く状況は変わらない。
- (職業安定所) …求人数は前年比で増加傾向にあるものの小口の求人が多く、求職者の減少も小幅であるため、現在の状況は変わらない。
- (職業安定所) …新規卒者の内定率の低下や正社員の求人の伸び悩みに加え、休業している企業がなかなか減少していないことから、厳しい状況は続く。

○「やや悪くなる」

- (スーパー) …今後、コーヒーや小麦粉、油等の原材料価格の上昇が予想され、一時的な特需はあっても、その後は客の買上点数が減るなど影響が出てくる。
- (乗用車販売店) …新車販売は需要期に向かっていているが、低価格車と軽自動車のみ集中しているため、300万円等の高価格車は以前のように売れず、更に厳しい状況になることが予想される。
- (観光型旅館) …農業関係者は、TPP問題等の不安要素を抱えており、レジャーに気持ちが向かない。また、ガソリン価格の上昇も不安要素としてある。さらに、高速道路料金を平日上限2,000円とする施策に期待したいものの、ここ数年、客は連休に集中して平日の旅行が減る傾向が強まっており、ゴールデンウィーク前後は混雑で客の動きは悪くなる。
- (出版・印刷・同関連産業) …同業者の話聞いても、受注量が前年同月比で5～10%低下しており、今後、リストラを考えているところが多い。
- (人材派遣会社) …最悪期は脱しているものの、厚生労働省の専門26業務派遣適正化プランにもとづく制約職種適用契約が今年度末に満了を迎えるため、やや厳しい状況になる。

○「悪くなる」

- (自動車整備販売店) …エコカー購入補助金による需要の先食いと代替え促進により、市場から値頃感のある中古車が減ったため、地方で低所得者を相手にしている業界では活気が全くみられない。補修を主体とする自動車整備業は今後も厳しい状況が続く、淘汰が進む懸念がある。また、高校生の就職率低下も市場低迷に影響する。
- (食料品製造業) …市況は現状維持で推移する。ただし、原油価格の上昇による油製品の高騰や小麦等の原材料価格の高騰で、経営に悪影響が出てくることが予想される。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上